
新潟県、UAVの監視飛行で不法投棄発見

Edited By LogisticsToday On 2017/06/16

新潟県は、県が保有する無人自律航空機（UAV）を山間部などの不法投棄の監視に投入し、このほど長岡市と出雲崎町の3か所で不法投棄を発見した。

同県では、地上からの確認が困難な不法投棄を把握するため、UAVによる不法投棄の監視活動を5月16日に実施。UAVで撮影した画像を解析し、現地を調査した結果、3件の不法投棄を確認した。当日の総飛行距離は142キロ、総飛行時間は1時間11分。

UAVが発見したのは長岡市と出雲崎町で鉄筋コンクリートの破片（推定4立方メートル）、外壁材破片・土木工事用型枠・木製パレットなど（推定3立方メートル）、廃プラスチック・車両・家庭用電気製品など（推定20立方メートル）の3件。

発見した不法投棄については、市町村などと連携して投棄者の特定を進めている。

■新潟県が公開した監視動画（新潟県公式YouTubeチャンネル）

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>
URL to article : <http://www.logi-today.com/292320>
Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.